

年金業務・社会保険庁監視等委員会（第4回）議事要旨

1. 日時 平成19年10月24日（水）13:00～14:45

2. 場所 中央合同庁舎第5号館16階委員会室

3. 出席者

（委員会）葛西委員長 大宅委員長代理 磯村委員 岩瀬委員 住田委員 村岡委員

（総務省）増田総務大臣 村木行政管理局長 田部事務室長 長屋主任調査員 横田主任調査員ほか

（厚生労働省）樽見官房参事官

（社会保険庁）坂野社会保険庁長官 吉岡総務部長 中野社会保険業務センター所長 北村統括管理官
鈴木運営部企画課長

4. 議事次第

(1) 総務大臣あいさつ

(2) 厚生労働省・社会保険庁からのヒアリング

5. 会議経過

○ 増田総務大臣から、以下の趣旨のあいさつがあった。

- ・ 監視等委員会は、7月に発足して以来、精力的に調査審議をしていただき感謝している。
- ・ 年金記録問題は、国民の政治・行政に対する不信感の一番の源であり、内閣の最重要課題である。
- ・ この問題について、将来に向けて正しく行うためには、官がしっかりしないといけないが、それを監視するのがこの委員会の役割である。作業が進んでいるとしても、その中に危険が潜んでいないか議論してほしい。
- ・ 委員会の事務局をあくまで立場であり、全力を尽くして、職責を果たしていきたい。

○ 社会保険庁から、年金記録の統合等に係る作業の進捗状況について、

- ・ 舛添大臣が月1回記者会見を開き説明することとしており、先日、最初の会見が行われたこと
- ・ 氏名等が収録されていない記録（524万件）の補正作業は順調に進んでいること
- ・ 5000万件の名寄せについて年金受給者との第一次名寄せを前倒しし11月から実施することなどのスケジュール

等の説明があった。これに対し、以下のような趣旨の質疑応答があった。

- ・ 作業の進捗状況は、所期の見通しに対してどういう状況にあるのかを説明するようにしてほしいとの要望があった。
- ・ 524万件の補正作業について、社会保険事務局ごとの作業量、進捗状況に関する資料を提出してほしいとの要望があった。
- ・ 年金相談等に関して、市町村や社会保険労務士等の意見を聴き、その要望に対しては真摯に対応すべきとの指摘に対し、幅広くいろいろな方々の協力を得る必要があるため、こ

れまでも意見を聴取してきているとの回答があった。

- ・ 現在、送付されているねんきん定期便は、説明などが分かりにくい。12月から送付するねんきん特別便については、誰がみてもよく分かるように、記載を工夫すべきとの指摘に対し、検討するとの回答があった。
- ・ 5000万件の名寄せ作業について、その課題や3月末までの作業内容などを積極的に明らかにしていくことが重要であるとの指摘があった。

○ 次回の委員会の日程は、11月16日（金）14時から開催予定。

（文責 総務省（事務室））